

出品作品について [昆虫標本]

出品できるもの

箱入り昆虫標本

- 乾燥標本、液浸標本いずれも可
- 箱には防虫剤を入れてください（ナフタレン、パラジクロロベンゼン、ピレスロイド等の衣類用防虫剤）
- 箱数の制限はありません。すべての標本箱の側面に学校名・学年・氏名を記した紙を貼り付けてください



ラベル



データラベル、同定ラベルは必ず標本本体と同じ針に重ねてさしましょう。



展示ラベルの例
(種名)

新潟県長岡市
守門岳 700m
2018年7月10日
星野光之介 採集

【データラベル】 標本1個体につき1枚、絶対必要！

- 採集地 県から地名を書く。標高も書くとうい。
- 採集年月日 西暦。7/15-20 など期間でもよい。
- 採集者名 一緒に採集していれば、自分の名前でもよい。
- ・ラベルの色 白
- ・ラベルの大きさ 幅 15 ~ 30mm 程度がよい。

コクワガタ
2025年5月30日
星野光之介 同定

【同定ラベル】 昆虫の種名はデータラベルとは分けて書く。

- 種名 カタカナで書く。慣れてきたら「学名」も書いてみよう。分からないときは「ミドリシジミの一種」など分かるところまで。
- 調べた日 図鑑を見た日。教えてもらった日、教えてもらった日。
- 同定者名 同定とは種を調べること。調べた人の名前を書く。
- ・ラベルの色 赤以外の薄い色。白でもよい。
- ・ラベルの大きさ 幅 15 ~ 30mm 程度がよい。

【展示ラベル】 標本箱を見やすくする。自由に工夫しよう

- 例：種名 同定ラベルは見づらいので、ここに大きく書くのもよい。
- 例：採集地 同じ種でも場所が違う時に。地図を書くのもわかりやすい。
- 例：虫の特徴 自分が観察・採集して気づいた特徴など。
- レポートを作る場合は、レポートの内容に合わせて標本や展示ラベルの配置をレイアウトするとわかりやすい。工夫して自分だけのオリジナル標本箱を作ろう。

レポート (提出は自由です)

- 出品は任意です (標本のみの出品も可)
- 採集の様子、記録、リスト形式の採集記録、形態の観察などテーマは自由
- ノート、ファイル、ポスター等で出品可
- 優れたレポートは入賞審査の加点対象になります

(例) 長岡市で採集したチョウのリスト

No.	科	種	採集地	採集日
1	アゲハチョウ科	ウスバシロチョウ	栖吉川上流部	2020年5月25日
2	アゲハチョウ科	ギフチョウ	東山ファミリーランド	2021年4月28日
3	アゲハチョウ科	ギフチョウ	栖吉川上流部	2021年5月6日
4	アゲハチョウ科	アゲハチョウ	東山ファミリーランド	2020年6月4日
5	アゲハチョウ科	キアゲハ	ふるさと農業公園	2020年6月20日
6	アゲハチョウ科	カラスアゲハ	東山ファミリーランド	2021年7月25日
7	シロチョウ科	スジグロシロチョウ	ふるさと農業公園	2021年5月15日
8	シロチョウ科	モンキチョウ	ふるさと農業公園	2021年9月18日
9	シジミチョウ科	ルリシジミ	東山ファミリーランド	2021年6月22日

昆虫標本作りの基本ルール ☒ チェックシート

～ぜんぶの□に✓できるようにしよう～

2つの基本ルール

- ☆他の生き物に食べられたり、腐ったりせず、長期間保存できること
- ☆誰が見ても正確なデータのわかるラベルがついていること

☆他の生き物に食べられたり、腐ったりせず、長期間保存できること

- ☐ 標本は展翅・展脚中によく乾燥させてあり、完成した後に翅や脚が垂れ下がっていない
- ☐ 標本にカビが生えていない
 - ☐ 標本箱に乾燥剤を入れている
- ☐ 標本がヒメマルカツオブシムシ、コナチャタテなどの害虫に食べられていない
 - ☐ 標本箱に効き目のある防虫剤を入れている
 - ☐ 標本箱に害虫が入るすき間はない
(すき間がある箱は、展示していない時はビニール袋などでおおって密封していれば○)
- ☐ 標本が日焼けによって色褪せていない

☆誰が見ても正確なデータのわかるラベルがついていること

- ☐ すべての標本に、1個体につき1枚ずつデータラベルがついている
- ☐ データラベルを昆虫本体と同じ針に刺している
- ☐ データラベルに誰が見ても正確に分かる採集場所を書いている(「家の庭」などは×。地名を書く)
 - ☐ 採集場所を都道府県または市町村から省略せずに書いている
 - ☐ 採集場所を町名や山名など細かい地名まで書いている
- ☐ データラベルに採集年月日を書いている
 - ☐ 採集年を西暦で書いている
- ☐ データラベルと同定ラベル(種名ラベル)を分けている
- ☐ ラベルの字ははっきりと読むことができる
- ☐ ラベルの紙は薄すぎない(厚紙を使おう)
- ☐ ラベルの紙に光沢紙など劣化しやすい紙を使っていない(厚手のケント紙が最適)
- ☐ ラベルが大きすぎない
(小学3年生までは自分で字が書ける大きさとOK。小学4年生以上は長辺3cm以内にしよう)

☆その他の基本的なこと

- ☐ 昆虫針は正しい位置に刺さっている(昆虫のグループによって違うので図鑑で確認しよう)
- ☐ 標本やラベルの高さがそろっている(平均台を使おう)